|  |
| --- |
| **民生委員・児童委員の活動紹介⑥（有田市）**  民生委員の案内で、子どもたちが地域の高齢者宅へ聞き取り調査を実施  －子どもたちがつなぐ未来への希望　福祉の種まきプロジェクト－ |

和歌山県社会福祉協議会では、県内の民生委員・児童委員及び民生委員・児童委員協議会の活動を順次ご紹介しています。

有田市社会福祉協議会では、去る平成26年6月27日に宮原小学校区の民生・児童委員の協力を得て、宮原小学校の6年生が一人暮らし高齢者等のお宅を訪問し、災害時や普段の生活での困りごとを聞き取る調査をプログラムしました。

この調査は「災害弱者を地域でどう支えるか　子どもに出来ることは何か」をテーマに取り組んだものです。調査までに、次の準備を重ねました。

|  |  |
| --- | --- |
| ○高齢者の特性や統計データを学ぶ  ○高齢者疑似体験 | 有田市社会福祉協議会の職員が小学校に出向いて授業を行った。 |
| ○聞き取り調査項目を考える | 小学生が自ら考えた。 |
| ○調査対象は、一人暮らし高齢者等とする（訪問先は児童らの住んでいる地区の方に限定）。 | 民生委員が調整した。 |

　当日は、児童3～4人が一つの班になり、民生・児童委員、小学校教員、社協職員がそれぞれの班に同行して訪問しました。

　この調査で児童は、実際に高齢者に会って、自分たちが思っているよりも、高齢者にはできることや楽しみがたくさんあること、想像していなかった部分で不便があることなどが分かった、とのことでした。

　また、自分たちにできることは、日頃からの声掛けや、避難訓練に誘うなどのコミュニケーションをとることだとの感想も多くありました。

　そして、社協担当職員は、この取り組みを児童が家庭で話す事により、地域のつながりが確実に広がっていると実感しているとのことです。

　なお、この取り組みは、有田市社会福祉協議会が、平成25年度から地域福祉活動計画に基づく重点事業として福祉教育推進の新規プロジェクトとして実施しているものの一環です。

　宮原小学校では1学期に授業数として17時間の取り組みをしました。

福祉わかやま（vol.331）2015年2月号　より